

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-51

| | |
|--|---|
| 学校名・団体名 | 岡崎市立梅園小学校現職教育部 |
| HPアドレス | http://www.oklab.ed.jp/weblog/umezono/ |
| コース | 学校支援 |
| 活動・研究 テーマ | 梅園という社会をよりよく創り上げていく子どもの育成 |
| 〈活動・研究の意義、目的〉 平成28年（2016）、本校が梅園の地に移り、「梅園」が校名となり100周年を迎える（梅園百歳）。これを絶好の機会ととらえ、子どもたちが学校や校区のこれまでの経緯に関心をもち調査をしたり、また社会（学校や校区、またその人々）に働きかけたりすることを通して、ただ単に学習した内容を社会生活に生かすという社会に順応する子どもを育てるだけではなく、自らが確かな思いをもって梅園という社会をよりよく創り上げていく子どもとなるように育てたいと考えた。 | |

1 活動の経緯

- 4月 ・新研究主題のもとで、授業研究の推進および「梅園百歳」記念事業の活動計画・骨子立案。
- 5月 ・各学年で「梅園百歳」記念事業の活動についての具体案の検討。各学級での子どもたちとの話し合い・意見交換を重ねる(～6月)。
- 6月 ・各主任を中心とした「梅園百歳」記念事業委員会で、学年ごとに実施する活動内容を調整。
・平成28年度秋に「梅園百歳フェスティバル」を開催することを決定するとともに、フェスティバルまでの各学年の活動の流れ・計画書の作成。
- 9月 ・各学年の活動を開始。

【6年生の活動】

- ・「梅園百歳テーマ」・「梅園百歳マーク(百梅くん)」の作成
- ・「梅園百歳テーマソング(梅園プライド)」の作成とCDにダビングして全校児童に配付
- ・「梅園百景写真展(毎月開催)」コンクールの実施
- ・学区の和菓子屋と協力して形や味等を考えた「梅園百歳まんじゅう」の作成と全校児童への配付
- ・児童手作りの「百梅くんチョコレート」の作成と下学年・幼稚園への配付
- ・昼の校内放送で「梅園百歳 梅っ子 ものしりクイズ王決定戦」の実施

【5年生の活動】

- ・学校を花いっぱいにする活動の実施
- ・東校門付近の斜面を活用して、梅園百歳を祝う記念の「100」の数字を花で表現
- ・プランターで菜の花・サクラ草を育て、卒業式の体育館ステージ下に飾り、卒業していく6年生の門出を祝う

【4年生の活動】

- ・あいさついっぱい活動を実施
- ・「二分の一成入式」を実施し、高学年になる自覚と責任感の高揚

【1・2・3年生の活動】

- ・1年と6年、2年と5年、3年と4年が兄弟学年となって諸活動を行う「なかよし活動」の実施

2 主な実践の内容

①「梅園百歳テーマ」の作成

「梅園百歳」を祝う意味を込め、梅園に対する気持ちを込めたテーマとなるように、6年生が中心となり、全校児童や先生たちとともに考えた。その過程で、本校が大切にしている体育館に掲げられている書「敬愛 信」から「梅園を敬い、梅園を愛し、梅園を信じる」という言葉を作成した。そして、いつも梅園であることに誇りを持つため、それを「梅園プライド」と名付け、これをもとにして「梅園百歳」記念プロジェクトがスタートした。

②「梅園百歳マーク(百梅くん)」の作成

「梅園」が生まれて百歳ということ、「くすくん(校庭の巨大なクスノキの老木)」が植樹されたのも同時期ということで、「梅」、「くすくん」をモチーフに考えた。右がそのデザインであり、「梅」の模様とそれを支える「くすくん」の模様を組み合わせ、元気満々な感じを伝えるとともに、「百」の文字を図案化し、百歳を喜ぶ笑顔にしたところが工夫点である。



●「梅園百歳」マーク

④「梅園百景」写真展コンクール

6年生が中心となり、現在の梅園小学校を始めとした梅園学区の風景のすばらしさを写真で記録する活動である。さらに、毎月写真展コンクールを開き、優秀作品を選定するとともに、それを「梅園百景カレンダー」にするという計画で現在進行中である。12月は、100点を超える作品が集まった。

⑤「梅園百歳テーマソング(梅園プライド)」の作成

全校児童で歌えるオリジナルなテーマソングを児童と教師で共に創り上げる活動である。詞については、梅園の特徴的な事象(歴史・自然・人物等)を学区の人に聞いたり、120年史を参考にしたりする活動から始め、何度も児童と教師で話し合いを重ねながら一つに集約しその歌詞をも

とに、6年生の児童の中から作曲のできる児童数名と、音楽の教師とが意見を交わしながら創り上げ、2月末に完成した。そして、本年度、NHK学校音楽コンクール全国大会出場を果たした音楽部が歌を歌いCD化して全児童に配付した。

⑥ 学校花いっぱい活動

5年生が菜の花・サクラ草を、一人1プランターで栽培し、この花を咲かせ、3月～4月の卒業式・入学式の会場を花いっぱいにしようと取り組んでいる。また、この活動は来年度の児童も引き継ぎ、校内が「梅園百歳」の年を祝う花でいっぱいにし、「梅園百歳フェスティバル」の当日にも花が咲いているように活動を続ける。また、プール東斜面をサクラ草で「100」の文字を表現したものが右写真である。



●バルコニーで大きく育った菜の花



●百梅くんまんじゅう(左)と百梅くんチョコレート

⑦ 「梅園百歳」まんじゅうとチョコレート

まんじゅうについては、学区にある和菓子屋と協力して、6年生がデザインを考え、色合いや値段を考え作り上げた。これについては、今後も和菓子屋で販売をする。チョコレートは、マークのデザインをチョコレートの形にしたもので、6年生の手作り作品である。バレンタインデーに全校児童・隣接する幼稚園児にもプレゼントし配付し好評を得た。



●プール東斜面の「100」の数字

3 成果

○子どもの様子

平成28年10月29日(土)の「梅園百歳フェスティバル」に向け、6年生を中心として多様な活動を行ってきた。活動は、来年度も継続して行っていく。6年生に実施したアンケートでは一連の活動に対して「主体的に取り組めた」「楽しく活動ができた」「梅園小学校・梅園学区がより好きになった」と回答した児童が90%を超え、本活動が子どもたちにとって十分意義のあるものとなったことが分かる。

また、全校児童を対象に学年末に実施した「学校評価アンケート」では「いろいろな行事に進んで取り組めた」と回答した児童は93%、「今、住んでいる梅園が好きだと思っている」と回答した全校児童は、96%にも達しており、このプロジェクトに対する児童の意識の高まりが分かる。

○地域の様子

全家庭を対象に学年末に実施した「学校評価アンケート」で「子どもは、学校行事に楽しく取り組んでいる」と回答した保護者は96%、「学校とあなたの家庭との関係・連携はうまくいっている」は、88%、「今、住んでいる梅園が好きだと思っている」は90%に達するという結果になった。このことから、このプロジェクトは校内だけでなく、保護者を中心とした梅園学区にも浸透していることが分かり、今後とも学区全体を挙げての活動になっていくことを期待したい。今後とも、児童と話し合いを重ねながら、発想豊かな活動を新たに企画し、「梅園百歳フェスティバル」当日を迎えるようにしていきたい。